

企業価値向上に向けて

株式会社 **アールス物流**

(東証プライム 9055)

2023年6月30日



(質と量のための) 投資を拡大、成長を加速

● 成長投資分野

- ネットワーク&ロジスティクス・キャパシティの拡大
- 新市場プラットフォーム構築
- 自動化&環境対応、非財務資本の充実
- 資本業務提携 (M&A)

● 投資 (4次中計)約150億円 ⇒ (5次中計)約300億円 ⇒ (6次中計)積極投資継続

資本効率の向上

● ROE (5次中計) 目標7% ⇒ (6次中計) 8%へ
株主資本コスト(5~6%)を上回るROE

株主還元向上

● 配当性向 2023/3期まで概ね30~40% ⇒ 概ね30~50%へ
安定配当 + 配当性向レンジを上方へ拡大、成長投資と株主還元を機動的に資金配分

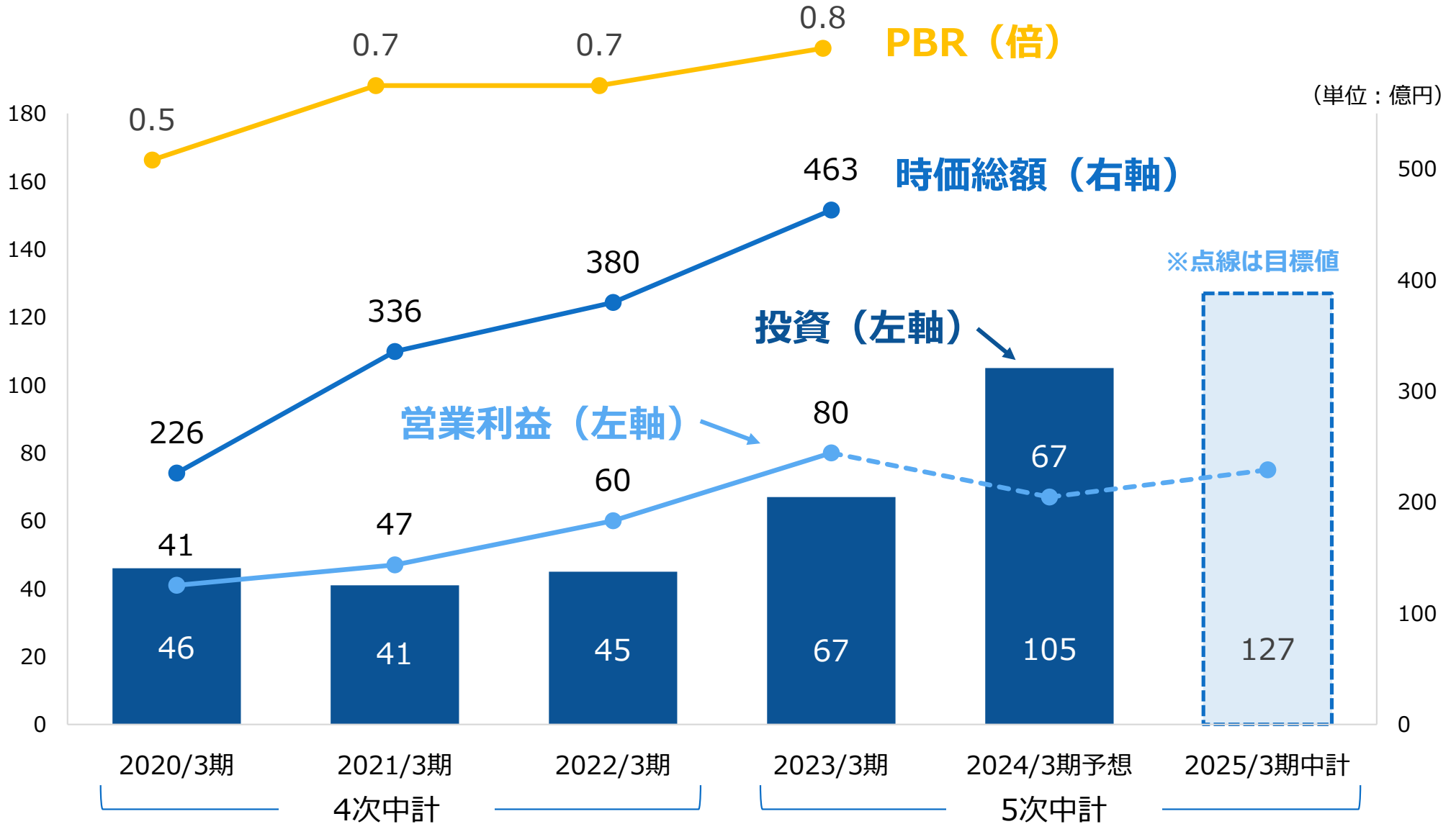
負債を活用した資本構成へ

● 自己資本比率 2023/3期59% ⇒ 45%までは負債を活用
M&A等の場合は、負債を最大限に活用

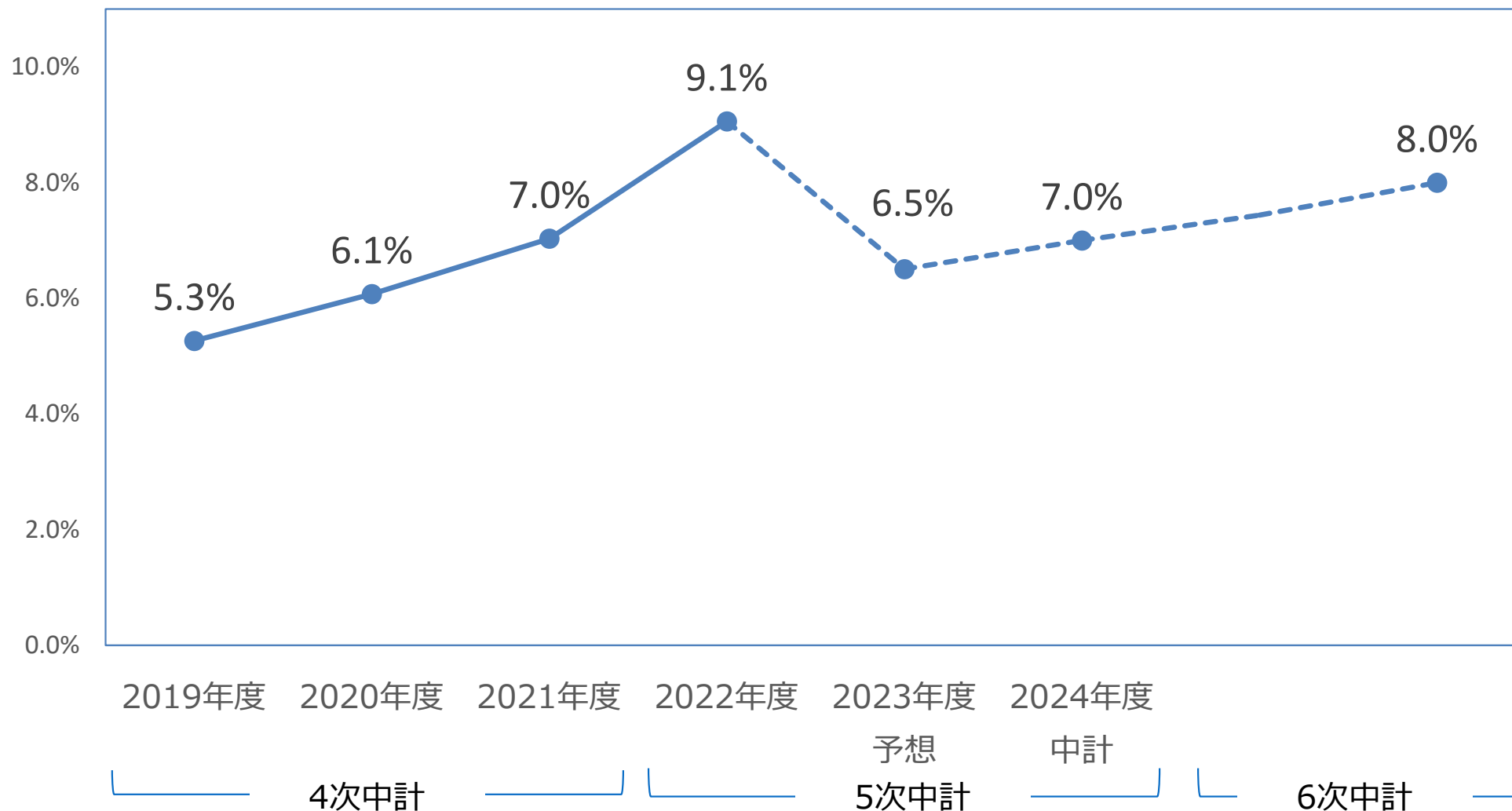


投資と利益成長・時価総額の推移

利益成長を加速するため投資を拡大



2022年度までROE向上。2023年度に一旦低下するが、
2024年度中計では7%、その先8%を目指す



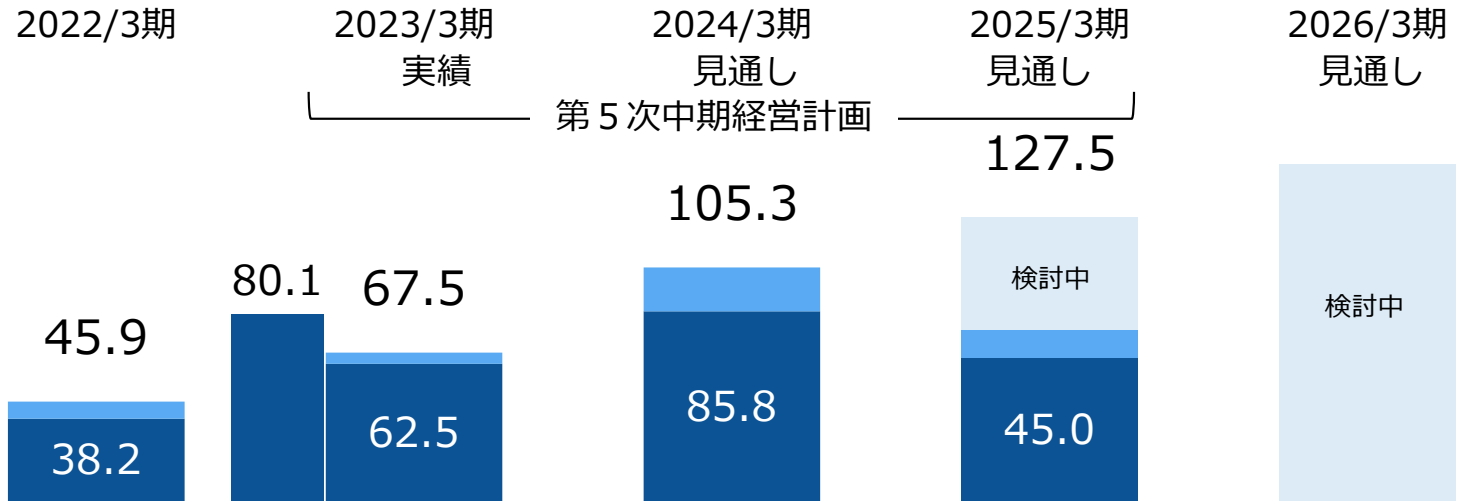
成長を加速するための投資を拡大

【投資額】

(倉庫賃借除く)

(単位：億円)

消費物流
電子部品関連



【主案件】

横浜倉庫建設

バンナ2期棟建設

加須2期棟建設

名古屋倉庫建設

上海松江倉庫建設

韓国2期棟建設

(検討中) ロジスティクス・キャパシティー増強

海外拠点の新設・整備など

環境関連設備・車両の導入

自動化設備

資本業務提携・M&Aなど

ご注意：

本資料に記載された業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。

実際の業績等は、業況の変化等により、記載されている予想数値と異なる場合があります。

また、本資料は会計監査対象外となっています。